

水道水質分析・ 環境分析セミナー2018



拝啓 早春の候、貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

今年4月より、昨年10月改正の「水道水質検査方法の妥当性評価ガイドライン」が適用されます。合わせて、水道水の水質基準に係る検査方法の「検水の濃度範囲」や「金属類の分析における内部標準液に係る規定」等の一部改正も適用される予定です。水道水質検査では、より精確性の高い検査法の採用が進められています。

この度、アジレント・テクノロジー(株)、和光純薬工業(株)が主催する水道水質分析等の最新の情報を提供するセミナーを開催いたします。セミナーでは、国立医薬品食品衛生研究所 小林憲弘 氏ならびに全国給水衛生検査協会 飲料水検査技術委員会 中村弘揮 氏をゲスト講師にお招きして、水道検査方法の改正およびその運用に関する最新の動向と事例を紹介いただく特別講演を行います。アジレント・テクノロジー(株)、和光純薬工業(株)から、水道水質分析ソリューションおよび試薬に関する講演を行います。

皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

敬具

開催概要

主催	アジレント・テクノロジー株式会社 和光純薬工業株式会社
後援	一般社団法人 全国給水衛生検査協会(依頼中)
日程・会場	東京会場 2018年4月20日(金) 10:50 - 17:00(受付開始 10:30) 大手町サンケイプラザ 定員 100名 ※本セミナーは先着順ではございません。 お申込を弊社にて受領後、3月15日頃より参加票の発行(メール送信)を開始いたします。 リモート会場 (同日、同時刻で開催します) 大阪 金陵電機株式会社 本社ビル 定員 50名
参加費	無料
問い合わせ	金陵電機株式会社 分析営業部 セミナー担当 電話:06-6394-1163 FAX:06-6394-5250 e-mail: kinryo-seminar@kinryo-electric.co.jp

特別講演

国立医薬品食品衛生研究所
生活衛生化学部
第三室 室長

小林 憲弘 氏

「水道水質検査方法の改正と
妥当性評価ガイドラインの改定」

一財)岐阜県公衆衛生検査センター
理事 兼 検査分析部 部長
一社)全国給水衛生検査協会 飲料水
検査技術委員会 委員長

中村 弘揮 氏

「水道水質検査方法の妥当性評価
ガイドラインの対応事例と
公定法の運用」



プログラム

10:30	受付開始
10:50 - 11:00	ご挨拶 一般社団法人 全国給水衛生検査協会(依頼中)
11:00 - 11:25	「上手な試薬の選び方と使い方」 ～規格の違いによる試薬の使い分けポイント～ 和光純薬工業株式会社
11:25 - 11:50	「ICP-MSによる水道水質検査法のポイント」 アジレント・テクノロジー株式会社
11:50 - 13:00	昼食(昼食の提供はございません)
13:00 - 14:20	「水道水質検査方法の改正と 妥当性評価ガイドラインの改定」 国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部 第三室 室長 小林 憲弘 氏
14:20 - 15:10	「LC/MS および GC/MS による 最新の水道水質分析ソリューション」 アジレント・テクノロジー株式会社
15:10 - 15:30	休憩
15:30 - 16:00	「標準物質のトレーサビリティ」 ～水道水質検査におけるJCSSの必要性について～ 和光純薬工業株式会社
16:00 - 17:00	「水道水質検査方法の妥当性評価ガイドラインの 対応事例と公定法の運用」 一財)岐阜県公衆衛生検査センター 理事 兼 検査分析部 部長 一社)全国給水衛生検査協会 飲料水検査技術委員会 委員長 中村 弘揮 氏
17:00 -	終了

参加対象

- 水質分析/環境分析を実施されているお客様
- 水質分析/環境分析にご興味あるお客様
- 検査ラボの効率化/信頼性向上にご興味あるお客様

会場へのアクセス

東京会場

大手町サンケイプラザ
3階 311+312会議室

地下鉄「大手町駅」A4・E1出口直結

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2

<http://www.s-plaza.com/>

大阪会場

金陵電機株式会社 大阪本社ビル
7階 会議室

阪急宝塚線 三国駅下車(梅田より3駅)徒歩約5分)
新大阪駅より、徒歩約25分、タクシー10分

〒532-0033 大阪市淀川区新高3-3-11



ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、
医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに
変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2018

Printed in Japan, March 2018

